

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（エリア担当） その他専門店 〔医薬品〕（経営者） タクシー運転手	来客数の動き 販売量の動き お客様の様子	・天候に影響される傾向がみられるものの、客数は伸びている。 ・冬支度の時期になり、風邪薬等必要不可欠な商品が動きだし、8～9月時よりも販売量が増えている。 ・業界全体で売上の低下が下げ止まった感があり、2か月連続で前年比プラスに推移している。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・百貨店の物産展などで街への集客はあったが、百貨店近くの飲食店への売上の増加にはつながらないなど、商店街全体としてのトレンドは変わらない。
		商店街（代表者）	単価の動き	・単価が横ばいで推移しているため、売上に大きな変化がみられず、また、客数の多い休日などは、単価が落ちているため、全体としては変わらない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・防寒需要の月だが、これといった流行もないため、昨年のもので間に合わせている客が多く、客の動きに変化がみられない。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・3か月前は夏の売り尽くしセールの中中で、最終値下げの時期であったが、客が商品をまとめて買うという傾向は全くみられなかった。今回も冬物衣料の品揃えはできているが、安くなってから買おうという傾向が強く、販売量の伸びに繋がらない。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・例年10月末からカードセールを行っているが、昨年と比較して、大物商品が少なく、小物商品がよく動いているため、全体としては変わらない。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・昼の時間帯は観光客が客の6割を占めているなど、ほぼ満席であり、客単価も例年より高いが、夜は来客数、客単価とも厳しく、全体としては変わらない。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・午後から雨が降って気温が下がると、ディナー客の足が遠のくため、客数は減少しているものの、客単価が上昇しており、全体としては変わらない。
		一般レストラン（スタッフ）	単価の動き	・客数は減っているが、客単価が前年同月比プラスとなっているため、全体としては変わらない。
		観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊客数は増加しているが、客単価のアップが図られず、全体としては横ばいで推移している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・10月は札幌でDPI世界会議等が開催され、タクシーの利用が期待されたが、会議開催期間中も含めたタクシーの利用は前年よりマイナスとなっているため、全体としては変わらない。	
	やや悪く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・総体的に商品単価が低下していることに加えて、客は必要なものしか買わないという傾向が強く、客単価も低下している。
		一般小売店〔土産〕（店員）	お客様の様子	・客を見ている限り、欲しい物を買いたいという意欲が低いようであり、客の購買意識が低く、また、購買点数も1、2点と少なくなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・平日の販売点数とセール期の販売点数の差が益々大きくなってきており、特にセール期のディスカウント商品のまとめ買いが、極端に目立つようになっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・3～6月頃の客数は対前年比99.8%となっていたが、10月は92.3%と大幅な下落状況にある。この要因は競合環境の激化にあり、今後も消費需要の伸びは期待できないため、さらなる販売環境の悪化が想定される。また、商品単価も対前年比で過去2年間下落を続けており、直近は対前年比96%の状況となっている。
		スーパー（企画担当）	競争相手の様子	・競合他店の価格を前面に訴求したチラシは、折込頻度を含め、一段と激しくなっているなど、デフレ傾向の進行はなお続いている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価の減少が止まらない。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・より低価格な商品の販売量が増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店長)	販売量の動き	・景気不安による買い渋りが要因と思われるが、先月までに比べて、額面、単価、点数を比較すると点数の落ち込みが大きくなっている。
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・客の誘致をかなり行っているが、全く動きがない。
		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型車が例年より多く投入されたが、思ったより売れない。
		住関連専門店 (従業員)	競争相手の様子	・最近、価格調査に行ったが、取引先の対応に非常に厳しいものがある。
		その他専門店 [ガソリンスタンド](経営者)	単価の動き	・同業他社との競争のために、理由なく販売価格が下落している。
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・レストランや宴会利用客は安定しているが、宿泊客数は6月のワールドカップの後遺症がまだ癒えていない。米国テロで国内旅行が活発だった前年に比べると大幅な減少となっている。
		スナック(経営者)	単価の動き	・家賃・従業員の給料など経費は変わらないが、客に飲み代の金額を値切られるなど、利益が少なくなっている。
		観光型ホテル (経営者)	単価の動き	・国内景気の停滞に加えて、オフシーズンに入ってから地域経済の一段の落ち込みに伴い、いわゆるレジャー支出は一段の落ち込みとなっている。レジャー支出の厳しさは、企業の経費削減を上回っている感がある。
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・減少の理由は不明だが、今月の入込客数は対前年比で3%程度減少する見込みとなっている。
		旅行代理店(従業員)	単価の動き	・熟年の客が単価の安い道内温泉旅行にシフトしている。
		旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・最近、客の来店頻度が減少傾向にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・観光客の入込が減少を続けていることに加えて、地域に多い食品業や建設業も仕事量が少なく、夜の繁華街では閑古鳥が鳴くという状態であるため、タクシー利用客が少なく、同業者のなかでも前年実績割れが依然として続いている。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・企業が通信料削減のために、携帯電話の契約を法人名義から個人名義に、どんどん変えている。
		その他レジャー施設(職員)	来客数の動き	・イベント関連施設のため、スポーツ・観光シーズン終了とともに来客数・販売量が下がる傾向にある。開業2年目を迎え、目新しさがなくなったせいなのか、単価も前年の同時期に比べ落ちている。
美容室(経営者)	来客数の動き	・客の来店周期が長くなってきている。		
美容室(経営者)	販売量の動き	・客の動きが停滞しており、一日当たりの客数もここ5、6年まったく同じである。		
悪くなっている		百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・9月の札幌市内は、競合店のリニューアルオープン、プロ野球の優勝セール等で需要が喚起されたが、10月はその反動に加えて、気温が高めで推移したことの影響を受け、衣料品が苦戦となっている。
		コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・より低単価な商品を購入する傾向が著しく進んでいる。
		衣料品専門店(店長)	お客様の様子	・当店の客は高齢者が多く、10月からの医療費値上げが響いて買い控えが多い。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・飲食店に出かける客が、毎年、少なくなっている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・当店だけではなく、繁華街は全体的に人が歩いていない。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・景気が悪く先の見通しが立たないなか、銀行に借金をしてまで、住宅を建てたり、設備投資をして修理をしたりするといった機運にならないようである。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・将来に対する不安やデフレの懸念から、借金を控える傾向にあり、今まで好調だったマンションの売れ行きが低調になってきている。以前は一戸建ては控えてもマンションは売れる状況であったが、今はマンションにも影響が出てきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	その他企業[コ ンベンション担 当]	受注量や販売量 の動き	・宿泊、レストラン、宴会部門とも前年を上回ったの で、10月は景気が回復したのではないかと考える。
	変わらない	輸送業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・デフレの影響により、競争の激化で価格破壊が起 こっている。
		通信業(営業担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・景気動向として受ける感触はそう悪くは感じない が、3か月前との比較では受注価格の低下もあり、横 ばいの印象となっている。
		通信業(営業担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・2か月くらい前から受注量は増加傾向にあり、今月 も同じ傾向と思われるため、前月比で判断すると変わ らない。
		金融業(企画担 当)	それ以外	・新規の設備資金が少なく、企業の人員抑制志向も強 い。
		司法書士	取引先の様子	・不動産業、建築業においては、住宅建築や不動産取 引が伸び悩んでいるため、3か月前と変わらない状況 である。
	やや悪く なっている	その他サービ ス業[建設機械 リース](支店 長)	取引先の様子	・建設機械、大型車両の販売台数が、対前年比で大幅 割れが続いており、小売業も既存店舗の売上は前年割 れを、新規出店でカバーしている状況となっている。
		食料品製造業 (団体役員)	受注価格や販売 価格の動き	・安価な国外産原料を使った製品と国内製品の価格競 合が激しく、企業は採算分岐点を大きく割り込み苦慮 している。冬の季節を迎え、灯油燃料などの生活物資 価格の上昇や、業界使用資材と輸送時の運賃の値上げ の打診があり、景況感は悪くなっている。
		輸送業(支店 長)	取引先の様子	・従来は道内が不振であれば道外に出荷するほか、販 売価格の低下についても人員整理などの合理化等で対 応できたが、ここにきて行き詰まりが出てきている。
悪く なっている	その他非製造業 [機械卸売] (従業員)	受注量や販売量 の動き	・生産現場で消費する溶接材料の出荷額は対前年比 90%であるが、溶接機等の機器類のそれは3割近く減 少している。このことは仕事量に比例する消耗品が 10%減少でどうにか収まっているのに、生産設備は大 幅に投資抑制していることを示しており、ユーザーは 古い設備を我慢して使っていると思われる。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・大型店の出店による小売業の求人の増加や、医療・ 介護関係やアウトソーシングなどの求人が対前年を大 幅に上回り、全体としても対前年10%の増加となっ ている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・有効求人倍率は3か月連続して対前年同月比を上 回っている。
	変わらない	求人情報誌製作 会社(編集者)	雇用形態の様子	・3か月前と比べて求人広告件数に大幅な増減はみら れないが、パート・アルバイトへのシフトが顕著に なっている。
		新聞社[求人広 告](担当者)	求人数の動き	・求人広告は増加しているが、これは昨年が悪すぎた ためであり、雇用形態は依然として、臨時、パートが 多い。
		職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・経営破綻する会社が多数見込まれていて、今後の求 職者の動向に不確定要素がある。
	やや悪く なっている	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・派遣料の値下げ圧力が増していることに加えて、よ り賃金の安いパートへの要望が強くなっている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は対前年比で2か月連続で減少してお り、有効求人数も6か月連続減少している。
	悪く なっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数の動きについて、無料および有料紹介どち らも、スキルがあるとか欠員補充などどうしても必要 場合のみで、以前にあった、人を育てるという動きは 見受けられない。